

# 高校生以上の障がい者を対象とした「一生涯スポーツ」モデル事業

NPO法人スマイルクラブは、2000年に総合型地域スポーツクラブとして発達障がい児の運動教室(「運動が苦手な子の教室」)を中心にスタートし、現在約400人の障がい児(者含む)が定期的にスポーツや運動を楽しんでいる。今回の事業は、その児童たちが将来社会人となっても一生涯スポーツや運動を楽しめるような環境づくりを、他の組織と連携しすすめていく事業である。

## 本事業の概要

### A 連絡協議会の開催



### B マニュアル等の作成と指導者養成(ボランティア)

- 1 モデルプログラムおよびマニュアル作成
- 2 指導者養成研修会の開催 ※38名参加
  - ・発達障がいに関する理解
  - ・実技研修
- 3 モデルプログラムの実施
  - 1) 定期教室 ※参加者延べ240名、指導者延べ60名
    - ・柏市立富勢西小学校
    - ・11~2月 計15回の開催
  - 2) 出張指導 ※参加者延べ69名、指導者延べ43名
    - ・千葉県立柏特別支援学校(2回)
    - ・(社)桐友学園(2回)
  - 3) その他
    - 障がい者ボウリング大会(10月14日) 110名



研修会の様子



モデルプログラムの様子

## 成果

- ・行政機関(スポーツ、生涯学習、障害福祉)をはじめ関係機関との連携体制を構築することができた。
- ・マニュアルを用いて指導者養成研修会を実施することで、より具体的、実践的な指導方法について研修することができた。
- ・定期教室では、定期的に教室指導に入りながら、障がい者スポーツの幅広さを学ぶことができた。
- ・出張指導では、イベント的ではあるが、風船バレー、ラダートレーニングなどいろいろなメニューを取り入れた。障がいのレベルはさまざまだが、じっくりと接することの大切さを学ぶことができた。

## 課題

- ・指導者養成では、大学生など若い世代の参加がなく、今後は大学等と連携し、より幅広い層の参加を目指す。
- ・定期教室については自立継続はまだまだ課題であり、次年度以降で新たな教室展開にも挑戦。